

「障害者週間」 記念のつどい

障害のある人もない人も共に生きる社会

入場無料
先着500名

12/3
日曜日

12月
3～9日は
障害者週間
です。



シンポジウム

相模原障害者殺傷事件が
私たちに問いかけるもの

ゲスト
田中 伸明さん 池原 毅和さん 福島 智さん 平野 泰史さん

昨年7月に障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた事件について、コーディネーターの田中伸明さん（名古屋市視覚障害者協会会長）、池原毅和さん（弁護士）、福島智さん（東京大学教授）、平野泰史さん（津久井やまゆり園家族会（みどり会）役員）をゲストに迎えシンポジウムを開催。

映画（えいが）

真白の恋



シーンボイス
字幕付き

音楽（おんがく）

kajii



とき

平成29年12月3日 日 開場/9:30 開演/10:00

場所（ばしょ）

青少年文化センター アートピアホール

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク11階

主催（しゅざい）

名古屋市・障害者と市民のつどい実行委員会

おといあわせ

名古屋市身体障害者福祉連合会 名身連事務局

TEL 052-682-0878 FAX 052-671-3124



- 市バス「白川通大津」下車、西へ徒歩2分。（栄18号系統）
- 地下鉄「名城線」矢場町下車、5・6番出口より西へ徒歩5分。
- ※手話通訳・要約筆記、点字プログラム、拡大版プログラム、ルビふり版プログラム、車いす席の用意があります。（内容によっては手話通訳や要約筆記がつかないことがあります。）
- ※公共交通機関をご利用ください。

「障害者週間」記念のつどい

障害のある人もない人も共に生きる社会

「障害者週間」とは？

昭和56年(1981年)の国際障害者年を記念して、毎年12月9日を「障害者の日」と定められ、障害者問題について国民の理解と認識を更に深め、障害者福祉の増進を図るために啓発行事が継続的に実施されてきた。

障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、社会・経済・文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、毎年12月3日～9日が「障害者週間」と位置づけられた。

名古屋市においても一般社会の人々への啓発事業として、実行委員会を設置し、この事業を行う。

プログラム

※開場は9:30。12:00～13:00は休憩時間。

午前の部	10:00	式典 <ul style="list-style-type: none"> ●名古屋市あいさつ ●障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ 
	10:20 ↓ 12:00	映画 <p>真白の恋(ましろのこい)</p>  <p>“日本のベニス”と呼ばれるほど美しい景観を誇る、富山県射水市。この港町を舞台に、軽度の知的障がいのある主人公・真白(ましろ)と、様々な問題に直面しながらも前向きに人生を歩んでゆく人々の姿を描きつつ、富山の魅力も伝える珠玉の感動作。</p> <p>なら国際映画祭 2016 インターナショナルコンペティション部門 観客賞受賞 TAMA CINEMA FORUM ある視点部門</p> <p>福井映画祭 11th 長編部門 グランプリ受賞 第二回 新人監督映画祭 コンペティション部門</p> <p>© sagan pictures</p>
午後の部	13:00 ↓ 15:00	シンポジウム <p>相模原障害者殺傷事件が 私たちに問いかけるもの</p> <p>ゲスト</p>  <p>いげはら よしかず 池原 毅和さん ふくしま さとし 福島 智さん ひらの やすし 平野 泰史さん</p> <p>昨年7月に障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた事件について、シンポジウムを開催。 ゲストには、自身も視覚障害者であり名古屋市視覚障害者協会会長を務めるコーディネーターの田中伸明さん、精神障害者の人権問題に取り組み内閣府障がい者制度改革推進会議差別禁止部会委員を務める弁護士の池原毅和さん、盲ろう者であり東京大学教授(盲ろうで常勤の大学教授は世界初といわれる)、全国盲ろう者協会理事、世界盲ろう者連盟アジア地域代表などを務める福島智さん、入所者家族で津久井やまゆり園家族会(みどり会) 役員の平野泰史さんを迎えます。</p>
	15:00 ↓ 15:30	音楽 <p>kajii(かじー)</p>  <p>クマーマと創(そう)のユニット。「音楽と楽器をもっと身近に」という願いから、身の回りのあらゆる日用品を使って楽器を創り出し音楽を奏でる。 創の安定感のある演奏、クマーマの明るい笑顔にお年寄りから若者、小さな子供まで、国籍を問わず広く愛され、絶賛されている。ちなみにメンバーの二人とも、パパである。</p> 